

学校教育目標	【共に学び たくましく生きる 心豊かなナントツの子】 (知)自ら学び続け、自分の考えを深める子どもを育てます。 (徳)自分も友達も大好きな、あたたかい子どもを育てます。 (体)心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にすることを育てます。 (公)地域の人やものを大切にし、共に生きる子どもを育てます。 (開)様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。					
	創立 55 周年	学校長 鈴木 勝之	副校長 田中 和賀子	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 7
学校概要	児童生徒数: 353 人		主な関係校: 下郷小学校・南戸塚中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	南戸塚中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<心身ともにたくましく生きる力> <コミュニケーション能力> <協働して課題解決する力>	南戸塚中学校 下郷小学校	他の人や社会に役立つ人を目指して、 主体的に行動し、たくましくなやかに生きる子ども 素直で、協調性がある特長を生かし、地域社会との協働活動を取り入れながら、自分の力を 他の人や地域社会に役立てようとする気持ちを育む。 基礎的・基本的な資質・能力(スキル)を養いつつ、継続してじっくり粘り強く取り組むことが できる力を育てる。 自分の学びは自分でつくる(自主的学習)、自分の学校は自分たちでつくる(自治意識)とい う自我意識を育てる。

中期取組 目標	◎子ども一人一人を大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくりに努めます。 ○集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人一人が安心して自分らしさを発揮できるようにします。 ・ペア活動、特別活動等での異学年交流 ・地域とのかかわりを意識し、一人一人が活躍できる授業や体験的な活動 ○教職員のチーム力向上に努め、児童が主体的・協働的な学びを通して資質・能力を身に付ける授業を実践します。 ・学年研、重点研(算数科)、メンター研、小中ブロックでの合同研修や授業研究を中心に ○安全に安心して学べる環境づくりのため、危機管理意識と人権意識を高めていきます。
------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	①興味・関心をもてるよう工夫し、目指す姿や身に付けたい資質・能力を子どもたちと共有することで、主体的に学ぶ姿勢や力を育成します。②重点研テーマを「主体的に学び、互いに認め合う子の育成」とし、算数科を中心に授業研究に取り組み、算数的活動を通して思考力・表現力を高めるとともに、主体的に課題に向き合い、他者と協働しながら課題を解決しようとする姿を目指します。③ICTの活用を積極的に取り入れた授業を通して、情報活用能力とITリテラシーを育成します。
担当 評価・情報教育部会	
徳 豊かな心	①全教育活動を通して道徳教育の充実を図ります。②特別活動やペア活動等の充実を図り、様々な集団活動を通して、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てます。③家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることで気持ちをつなげるよさを実感できるようにします。
担当 児童指導・特別支援部	
体 健やかな体	①規則正しい生活をしようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体的な活動を通して基本的な生活習慣を整えていきます。②体育科を中心とした健康に関する学習の充実を図るとともに、限られた環境の中でも運動量を確保しながら、運動への親しみを持ち体力向上を目指せるようにします。③計画的に食育に取り組み、食への興味・関心を高めつつ食事の重要性についての理解を深め、望ましい食生活を創造していこうとする態度を育てます。
担当 防災・安全・環境・キャリア部	
公開 地域連携	①ナントツ協働運営協議会での熟議や授業、学校行事の参観等を通して、学校運営方針への理解を求めるとともに、そこでの評価を基に子どもたちにとって最善の教育活動となるよう工夫・改善を図っていきます。②地域の教育力を積極的に教育活動に取り入れるために地域学校協働本部等との連携をとりながら、子どもが地域とのかかわりを通して伸びていく学びの環境の充実を図ります。
担当 教務部	
いじめへの対応	①月1回定期的に校内いじめ防止対策委員会を実施し、専任を中心とした組織的な児童指導・支援体制を整え、認知した案件の経過確認を丁寧に行うなど教職員のチーム力で再発防止・未然防止・関係改善に努めます。②日常に潜むいじめについて丁寧な実態把握に努め、子どもの心情に寄り添うことを徹底します。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①各学年で教科を分担するなどして、学年の全ての教員が全ての子どもと日常的・継続的に関わる状況を生み出し、一人一人の心の安定や学習を保障する教師力の向上を目指します。②キャリアステージに応じて設定した自己目標等に関わり、教科指導・人権教育・児童指導・危機管理対応などの能力向上を図ります。③会議の内容精選や組織の仕事分担の効率化、業務内容の見直し等を図り、全職員が安心して自身の強みや能力を発揮できる職場環境づくりに努めます。
担当 教務部	
児童指導	①担任、専任、専科等が連携し、情報収集と実態把握を素早く行うとともに、管理職や関係職員との情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにします。②学校のきまりや生活スタンダードを共通理解し、子どもに対する指導が変わらず一定のものになるようにすることで、安心して学校生活を送ることができるようにします。
担当 児童指導・特別支援部	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを複数配置し、特に配慮を要する児童に対して共感的な児童理解を大切にしながら、個に応じた支援体制を充実させます。②必要に応じてSCやSSW、外部機関との連携を密にし、より良い支援の在り方を考え実践していきます。③研修等を充実させ、全職員がどの子にも特別支援の意識をもってかかわれるようにします。
担当 特支コーディネーター	
安全管理	①子どもの安全を第一に考え、日常の教育活動の他、行事や校外学習等での安全に十分に配慮し、けがや事故の未然防止に向けた対策を徹底します。②子どもが安心・安全に過ごせるように環境整備を推進するとともに、防災訓練・交通安全指導等を通して、子ども自身の危機管理意識も高めていきます。
担当 防災・安全・環境・キャリア部	
a15	b10
担当	